あなたの「できる」が、地域の力になる

消防団員になりませんか？



地域を守る大切な存在

大きな災害が発生したとき、消防署の消防隊だけですべての地域を同時に守ることはできません。地域の事情をよく知る消防団員が、消防署や地域住民と連携して活動することで、災害への対応力を高めることができます。火災や風水害などの災害対応だけでなく、地域の防災訓練や、火災予防の啓発など、「災害が起きる前」から地域を守る活動も消防団の大切な役割です。

個人の生活スタイルを尊重しながら活動

消防団には「厳しい訓練」「時間をたくさん取られる」といったイメージがあるかもしれません。もちろん、災害に備えるために必要な訓練や活動はあります。一方で、消防団は、仕事や家庭など、それぞれの生活を持つ人が参加する組織です。活動内容や頻度は地域によって異なりますが、個人の生活スタイルを尊重しながら活動できます。

問 消防総務課消防団係（消防本部）☎ 72 - 2255

ID 3435



自分と大切な人の暮らしを守る

災害が発生したとき、「自助」「共助」「公助」の３つの助け合いが大切と言われています。消防団は、この「自助」と「共助」を実践する身近な存在です。

火災発生時には、初期消火や避難誘導などに取り組む身近な「共助」の担い手となります。また、消防団で身に着けた知識や経験は災害での出動時だけでなく、災害時に自身や家族を守る「自助」にも役立ちます。



自助（自分の安全は自分で守る） ＋ 共助（地域やコミュニティで助け合う） ＝ 地域の防災力





地域で輝く消防団

消防団員は、火災や風水害などの災害時に出動するだけでなく、平常時にも地域に根ざした活動を行っています。

地域の防災訓練や火災予防の啓発、年末の夜間警戒、地域行事での安全確保などを通じて、顔の見える関係を築きながら、地域の安全・安心を支えています。











消防団に関するＱ＆Ａ

Q 入団の条件はありますか？

A 18 歳以上（学生を除く）で、市内に在住または在勤であれば、男性は地元の消防団、女性は市全域で活動する女性消防分団に入団できます。

Q 活動はボランティアですか？

A 消防団員の身分は非常勤特別職の地方公務員です。年額報酬のほか、火災や訓練などの出動に対して出動報酬が支払われます。退職金の制度もあります。

【報酬の例】

種類	金額	備考
年額報酬	36,500 円～	役職等による
出動報酬	2,000 円～ / 回	出動種別、出動時間による

Q どんな活動がありますか？

A 火災時の出動や定期的に行われる訓練への参加、消防活動に必要な講習があります。自治会や学校などでの啓発活動を行っているところもあります。

Q 活動中にケガをしたら？

A 活動中にケガをした場合は、公務災害補償が条例で定められており、「療養補償」「休業補償」などを受けることができます。

その他にも消防団車両を運転できるための免許取得補助など、団員の活動を支援する制度があります。詳しくは市ホームページを確認ください。



地域を守ることは、自分と大切な人を守ること
～あなたの一歩が、あなた自身と地域の未来を守る力になります～

「消防団活動に興味があるが、仕事と両立できるか不安」「まずは活動内容から詳しく聞きたい」など、気になることがある人は気軽に下記まで相談ください。

問 消防総務課消防団係（消防本部）☎ 72 - 2255

丹波市消防本部では活動内容を市民のみなさんにお知らせするために、Instagram を開始しました！ フォローはこちらから！▶

女性消防団員 募集中！

